

**組織の目標設定シート(行政経営Aシート)**

組織	地域振興課
職	課長
氏名	中田 哲也

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
民間の地域づくり団体と連携を強化するとともに、市町が主体となって取り組む地域の振興策に対し支援を行い、活力ある持続可能な地域づくりを推進する。 能登半島地震(H19.3)からの本格的な復興に向け、各部局、地元市町のほか金沢・加賀地区とも連携し地域活性化策に取り組む。	



<b>組織の目標 (定性的目標)</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か 何をどのような状態にしたいか</b>				
① 多彩な地域資源を活用した地域づくりを進め、都市との交流を通して、交流人口の拡大と定住促進を図る。 ② 能登半島地震被災(H19.3)からの単なる回復にとどまるのではなく、平成24年度から5年間延長した復興基金を活用し、当該地域が自主自立できるよう、部局間連携して支援する。					
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>				
<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>
①交流人口数(観光入り込み客数)	700 万人	H25 年度	1,000 万人	H27 年度	新ほっと石川観光プラン(平成22年改訂版)～3大都市圏誘客1,000万人構想～



<b>26年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
①定住の促進・交流人口の拡大	北陸新幹線金沢開業を、首都圏からの移住・交流居住者の増加につなげるための絶好の機会と捉え、平成25年度に設置した「北陸新幹線による『いしかわ暮らし』検討会議」での意見等を踏まえ、新たな移住・交流居住の施策に取り組む。
①能登地域の活性化と活力の維持	過疎化や人口減少、少子高齢化の進展が著しい能登地域を対象に、交流人口の拡大に繋がる地域資源を活用した新たな取り組みの強化や受入態勢の環境整備に取り組む。
①地域づくり活動の推進	地域づくり活動を担うリーダー的な人材養成に取り組むとともに、各地域づくり団体間の交流や情報交換の場を提供することで、地域づくり活動の普及や認知度の向上、活性化を図る。
②能登半島地震復興基金の運用	地元市町や民間団体と連携のうえ、「持続可能な能登の再生と創造」を目指していく。